

授業科目	人間・社会・芸術	配当年次	1年・2年	必修選択	選択
		開講期	後期	講義形態	講義
		単位数	2	授業回数	15
担当教員	千葉 潤、平向 功一、梶井 祥子	ナンバリング	SO-CE 1921		
		履修人数	制限あり		
		区分			
授業概要	人間と社会と芸術をめぐって、社会で活躍する著名人および本学卒業生・教員による講義をオムニバス形式で行うキャリア支援科目です。学内外から毎週異なるゲストスピーカーをお招きして、お話を伺います。大学在学中における学修の刺激となるだけでなく、大学卒業後のキャリアについて考える機会となることを主眼に、人間と社会と芸術について考えるきっかけや材料を提供します。				
到達目標	卒業後のキャリアについて幅広く豊かな識見を身につけ、自分と社会の将来について考えることができる。社会の様々な分野についての理解を深め、社会で生きていくうえで役立つ知識や能力を身につけることで、自分と社会の未来について創造的に考えることができる。 学科のディプロマポリシー〔音楽学科1と4と5、美術学科1と4と5、地域社会学科1と4と5〕に対応しています。				
授業計画	【参考】 2019年度の講師一覧。15週目は総括。 2021年度の講師陣は第1回目に発表します。				
	1週	櫻井 幸絵 氏による講演	演出家・劇団千年王國代表		
	2週	針生 美智子 氏による講演	声楽家・本学芸術学部音楽学科准教授・本学卒業生		
	3週	石井 正治 氏による講演	札幌市民交流プラザ館長		
	4週	五味 宏 氏による講演	STV報道局解説委員		
	5週	福津 京子 氏による講演	「札幌人図鑑」主宰・札幌大谷高校卒業生		
	6週	浜中 裕之 氏による講演	NPO法人北海道エンブリッジ代表理事		
	7週	黒田 朋子 氏による講演	札幌交響楽団事務局職員・本学卒業生		
	8週	工藤“ワビ”良平 氏による講演	デザ院株式会社・グラフィックデザイナー		
	9週	加藤 知美 氏による講演	「アルテピアッツァびばい」事務局長・本学非常勤講師		
	10週	日浅 尚子 氏による講演	北海道新聞社常勤監査役		
	11週	石岡 美久 氏による講演	ファッションデザイナー・algorithm・本学非常勤講師		
	12週	松田 考 氏による講演	札幌市若者支援総合センター館長		
	13週	中山 ヒサコ 氏による講演	音楽療法士・本学元教員		
	14週	国松 希根太 氏による講演	彫刻家・飛生アートコミュニティー代表・本学非常勤講師		
成績評価方法・基準	授業内試験(学期末レポート試験)60%、受講態度等40%				
教科書ソフト等	なし。授業内で適宜、資料を配付します。				
参考書参考資料	なし。授業内で指示します。				
クラスコード	raplvdz				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	この科目は、主として実践的教育から構成され、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う授業です。				
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	講義テーマおよび講師プロフィールを掲示等にてお知らせしますので、事前にテーマや講師についてよく学習しておくこと。授業後は講義を聴いて新たに発見したことや授業内で理解できなかったことなどについて各自しっかりと学習すること。 2時間から3時間程度/週				
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	この科目は遅刻厳禁です。授業開始時に出席を取りますので、必ず着席していること。授業開始時までに入室していないと原則欠席扱いとする。受講時は静かにしっかりと講義を聴き、必ずメモを取ること。質問は、授業内の質問時間で行うこと。				

授業科目	医学概論	配当年次	1年	必修選択	選択
		開講期	前期	講義形態	講義
		単位数	2	授業回数	15
担当教員	眞岡 知央			ナンバリング	SO-CE 1501
				履修人数	制限あり
				区分	
授業概要	<p>近年医学・医療の進歩・発展は著しく、専門分化がより進み、様々な職種の人々が医療に携わるようになってきています。そのため医学・医療の全体像を完全に把握することは困難になってきていますが、多くの医療関係者がもつ共通認識や、現代医療における問題点などを理解することを目標に、身近な事例なども踏まえながら皆さんと一緒に考察して行きます。</p>				
到達目標	<p>① 医学・医療全般に対するイメージをそれぞれ持つことができる。 ② 実際の医療と向き合ったとき、考え方の基礎となる知識を身につける。 ③ 現代医療における問題点について意識することができ、それらを改善して行くためにはどうしたら良いか、考察することができる。</p> <p>この科目は学科のディプロマ・ポリシー〔音楽学科5、美術学科4、地域社会学科4〕に対応しています。</p>				
授業計画	<p>1週 身体におけるホメオスタシス 2週 循環・呼吸器系の形態と機能 3週 消化器系の形態と機能、栄養と代謝 4週 生体の防衛機構 5週 生活習慣病 6週 タバコの害 7週 アルコールの功罪 8週 ストレス 9週 日本の医療制度① 10週 日本の医療制度② 11週 全人的医療とチーム医療 12週 少子高齢化社会が抱える問題 13週 地域医療、救急医療、医療安全など 14週 ターミナル医療 15週 全体のまとめ、フィードバック等</p>				
成績評価方法・基準	毎回の授業内で行う小テストの合計点が、全講義終了時点で総点数の6割以上で合格。				
教科書ソフト等	なし。授業内でノート(解説文)付きのスライドを共有します。				
参考書参考資料	なし。授業内で指示します。				
クラスコード	7kg5n7p				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	この科目は、医療現場に携わる実務経験のある教員が、実践的教育を行っています。				
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	<p>授業前には、興味のある分野についてインターネットや書籍で情報を集めるなどしてみてください。授業後は、疑問点を明確にし、箇条書きにするなどして整理し、次回授業後に質問してみてください。</p> <p style="text-align: right;">2時間から3時間程度/週</p>				
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	授業は基本的に講義形式で行いますが、フォームやメールからの質問を受け付けます。授業内に前回の授業で実施した小テストのフィードバックを行います。				

授業科目	障がい児教育	配当年次	1年	必修選択	選択
		開講期	前期	講義形態	講義
		単位数	2	授業回数	15
担当教員	今井 常晶			ナンバリング	SO-CE 1401
				履修人数	制限あり
				区分	
授業概要	障害に対する基本的知識や正しい理解を習得し、障害児を取り巻く支援体制について理解する。				
到達目標	<p>障害に対する基本的知識やその支援体制について説明できる。</p> <p>この科目は学科のディプロマ・ポリシー〔音楽学科5、美術学科4、地域社会学科4〕に対応しています。</p>				
授業計画	<p>1週 オリエンテーション</p> <p>2週 特別支援教育の現状</p> <p>3週 視覚障害の理解</p> <p>4週 聴覚障害の理解</p> <p>5週 知的障害の理解</p> <p>6週 言語障害の理解</p> <p>7週 肢体不自由の理解</p> <p>8週 重症心身障害の理解</p> <p>9週 自閉症スペクトラム(ASD)の理解</p> <p>10週 注意欠陥多動性障害(ADHD)の理解</p> <p>11週 学習障害(LD)の理解</p> <p>12週 病気療養の理解</p> <p>13週 障害の発見ー乳幼児検診の実際ー</p> <p>14週 発達障害とは</p> <p>15週 まとめと授業内試験(筆記)</p>				
成績評価方法・基準	授業内試験(筆記)80%、平常点20%				
教科書ソフト等	教科書はなし、授業内で毎回資料を配付します。				
参考書参考資料	『インクルージョン時代の障害理解と生涯発達支援』東京学芸大学特別支援科学講座編 日本文化科学社				
クラスコード	kz3otc5				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	この科目は発達障害児への発達支援の実務経験のある教員が実践的教育を行っています。				
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	<p>前回までの授業内容や資料をしっかりと復習し、質問されても答えられるようにしておくこと。</p> <p style="text-align: right;">2時間から3時間程度/週</p>				
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	<p>新聞等に掲載される障害に関する記事を読んでおくことが望ましい。</p> <p>授業内試験について問い合わせがあれば、模範解答について開示する。</p>				

授業科目	介護概論	配当年次	3年	必修選択	選択
		開講期	後期	講義形態	講義
		単位数	2	授業回数	15
担当教員	本間 美幸			ナバリング	SOU_CGE3023
				履修人数	制限あり
				区分	
授業概要	<p>少子高齢社会といわれる現代では、介護を必要とする人の増加を背景に「介護」に関連する課題が数多く問われています。「介護」とはそもそもどういうことを言うのでしょうか。介護および介護福祉の概念・理念から、授業をスタートさせます。それらを踏まえて、介護福祉サービスを提供するための基本的な考え方と技法まで学び、介護を必要とする方のニーズに沿った援助について考えていきます。</p>				
到達目標	<p>① 介護・介護福祉についての基本的知識を身につける。 ② 介護を取り巻く状況について、社会情勢と関連付けて考えることができる。 ③ 介護を必要とする人の尊厳の保持と自立支援の重要性を理解する。</p> <p>この科目は学科のディプロマ・ポリシー〔音楽学科1、美術学科4、地域社会学科1〕に対応しています。</p>				
授業計画	<p>1週 授業ガイダンス～介護とは何か 2週 介護を必要とする人の理解 3週 介護が必要な人と家族のための制度 4週 介護が展開される場 5週 認知症高齢者ケア①認知症の理解 6週 認知症高齢者ケア②適切な関わり方 7週 介護援助の基本① コミュニケーション 8週 介護援助の基本② 社会的な生活の支援 9週 介護援助の基本③ 日常生活の支援 10週 介護援助の基本④ 食べるを支援 11週 介護援助の基本⑤ 排泄の支援 12週 介護福祉における倫理 13週 尊厳を支える介護 14週 介護福祉の今日的課題 15週 授業内試験とまとめ</p>				
成績評価方法・基準	授業内試験50%、平常点30%、毎回のリアクションペーパー20%				
教科書ソフト等	なし。授業内で適宜、資料を配付します。				
参考書参考資料	なし。授業内で指示します。				
クラスコード	wewkuqp				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	この科目は、社会福祉の現場に携わる実務経験のある教員が、実践的教育を行っています。				
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	<p>授業内で配付した資料を活用して講義内容をまとめて予習・復習してください。</p> <p style="text-align: right;">1時間程度/週</p>				
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	特に予備知識は必要としませんが、日頃から社会情勢に興味関心を持つことを期待します。また、提示された問いについて自身で考え、発言や質問など積極的な受講姿勢を求めます。				

授業科目	教育実地研究	配当年次	4年	必修選択	選択
		開講期	通年	講義形態	実習
		単位数	4	授業回数	—
担当教員	荒井 眞一、平向 功一、勝谷 友一			ナバリング	TEP4024
				履修人数	制限あり
				区分	
授業概要	この科目は、4年間の教職課程の履修により培われた知識を基に、中学校または高等学校において実習を行うものである。実習校で、校長・指導教員のもとに、教員の職責・使命、教科の内容、教育方法、生徒指導、教科外教育(道徳の時間、特別活動、総合的な学習の時間)の指導など、教員として必要な事項について実習を通して学ぶ。実習の期間は原則3週間である。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校現場、教師の仕事内容を理解することができる。 ② 生徒の発達、学び、生徒が持つ問題などを理解することができる。 ③ 理想とする教師像を具体的に説明することができる。 ④ 学習指導案作成・教材研究など教科の指導力を身につけることができる。 				
授業計画	<p>実習校において 3週間 120時間(最低)、おおよそ次のような実習が行われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 実習校におけるオリエンテーション(校長講話、教頭講話等) ② 授業観察(教科、道徳の時間、特別活動、総合的な学習の時間、生徒指導) ③ 授業参加(教科、道徳の時間、特別活動、総合的な学習の時間、生徒指導) ④ 実習授業(教科、道徳の時間、特別活動、総合的な学習の時間) ⑤ 研究授業(教科) ⑥ 生徒指導 ⑦ 部活動の指導 ⑧ 学級経営に関する指導(朝会、昼食、帰りの会、清掃など) ⑨ 教員の職務に関する実習 ⑩ 大学の教員による実習指導 ⑪ 実習に関する自己評価レポート <p>※ただし、高等学校には道徳の時間はない。</p>				
成績評価方法・基準	実習状況70%、レポート・自己評価15%、実習ノート15%				
教科書ソフト等	『学習指導要領』(中学校あるいは高等学校)、実習教科の『学習指導要領 解説編』、実習校から指定された教科書				
参考書参考資料	なし。授業内で指示します。				
クラスコード	ivdz4sp				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無					
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	<p>実施前に手紙等により、担当学年、題材等の把握に努め、事前準備を十分に行う。『学習指導要領』(中学校あるいは高等学校)、実習教科の『学習指導要領解説』を必ず熟読の上、実習に臨むこと。</p> <p style="text-align: right;">実習前に事前確認する時間を確保してください</p>				
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	「教育実習事前事後指導」の事前指導を欠席した場合は、原則「教育実地研究」を履修することはできない。教育実習は、事前事後指導を含めて完結するので、「教育実習事前事後指導」の事後指導には必ず出席すること。なお、事後指導は4年次11月下旬から12月上旬に集中講義形式で行うので、掲示で案内します。				

授業科目	介護等体験	配当年次	3年	必修選択	選択
		開講期	通年	講義形態	演習
		単位数	1	授業回数	—
担当教員	荒井 真一			ナンバリング	TEP3026
				履修人数	制限あり
				区分	
授業概要	<p>教職履修者には福祉施設で5日間、特別支援学校で2日間の体験が求められる。高齢者や障がいのある人々との出会いを通じて、みなさんに人間ひとりひとりの尊厳を重んじる態度を養ってもらおう。またこのような態度の育成は、教職をめざす者にとって、子ども一人ひとりの多様な人間性を認めることにもつながる。7回の講義を受講した後、福祉施設と特別支援学校での実地体験が行われる。</p>				
到達目標	<p>介護等体験の基礎的な知識や心構えの修得をめざす。 人間一人ひとりの尊厳を重んじる立場を身につける。</p>				
授業計画	1週	教職課程における介護等体験の意義			
	2週	実習に関わる諸注意と実習日誌の書き方(諸注意、実習の出勤・退勤、実習中の態度・服装・緊急時の対応・実習後の対応など)心構え実習日誌の書き方、概要・一日の流れ・感想)			
	3週	社会福祉施設における体験学習の講義① 高齢者・障がい者福祉施設の現状と課題(福祉施設の種類及びそれぞれの役割)			
	4週	社会福祉施設における体験学習の講義② 福祉現場の現状と実習生に求められるもの(福祉施設関係者あるいは研究者を招き、施設の実状等を講義)			
	5週	社会福祉施設における体験学習の講義③ 実習へ向けての心構え(実習時に特に気をつけるべき点:車いす、食事介助などを講義)			
	6週	特別支援学校における体験学習の講義④ 特別支援教育の現状と課題(特別支援学校の役割、発達障害など)			
	7週	特別支援学校における体験学習の講義⑤ 特別支援教育の現状と実習生に求められるもの(特別支援学校関係者あるいは研究者を招き、特別支援学校の実状等を講義)			
	8週	事後指導 ①高齢者と障がいを有する子どもとの関わりから学んだこと、②介護等体験を通して学んだことを教職にどう活かすか ディスカッションおよび事後レポート作成			
成績評価方法・基準	実習施設・実習校の評価50%、講義中のレポート30%、事後レポート20%				
教科書ソフト等	『フィリア』THE EARTH 教育新社、『よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会				
参考書参考資料	授業内で適宜、資料を配付します。				
クラスコード	5wx3ctv				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無					
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	実習先との連絡・調整等は早めに確実に行うこと。				1時間程度/週
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	7回の講義を欠席した者には実地体験を行わせない。 レポート未提出者は、単位認定しない。				